

# 揺さぶられる司法科学 ——揺さぶられっ子症候群（SBS）仮説の信頼性を問う——

## 企画趣旨

本シンポジウムは、最近脚光を浴びつつある「揺さぶられっ子症候群（Shaken Baby Syndrome。以下、SBS）」と「虐待による頭部外傷（Abusive Head Trauma, AHT）」について、国際的・多分野的な観点から検証することを目的として開催する。

近年、子どもを揺さぶって虐待したとされて逮捕・起訴され、有罪判決を言い渡される事件が日本でも頻繁にみられるようになった。しかし、アメリカやイギリスをはじめとする諸外国では、SBSの理論的根拠等を疑問視する見方が1990年代以降強まりつつある。子どもを揺さぶって死亡させたなどとされる虐待事案で、有罪判決が見直されるケースも増えている。スウェーデンでは、2014年に最高裁判決で、2016年に医療技術諮問委員会（SBU）が三徴候（硬膜下血腫、網膜出血、脳障害）から暴力的な揺さぶりがあったことを診断するという方法には科学的エビデンスがないと判断した。

しかし、このような状況については、日本ではこれまでほとんど紹介されてこなかった。

そこで、日本においてもSBSを新たな視点から検証を行う初めての契機とすべく、本シンポジウムを企画した。

**日時** 2018年2月10日土曜日 10:00-18:00、開場9:30

**場所** 龍谷大学響都ホール校友会館

所在地：〒601-8003 京都府京都市南区東九条西山王町3-1

アバンティ9階（店内東側エレベータをお使い下さい）

\*JR京都駅八条東口より徒歩1分

電話：075-671-5670

## 登壇者

キース・フィンドレイ（Keith Findley）

ウィスコンシン大学ロースクール准教授

ウィスコンシン・イノセンス・プロジェクトシニアアドバイザー（元共同代表）

ケイト・ジャドソン（Katherine Judson）

イノセンス・ネットワーク SBS 担当

弁護士、ウィスコンシン大学ロースクール講師

ウェイニー・スクワイヤー（Waney Squier）

元オクスフォード大学ジョン・ラドクリフ病院医師（神経病理学）

## **登壇者（つづき）**

青木信彦（ベトレヘムの園病院 院長；多摩総合医療センター名誉院長・脳神経外科）

荒木尚（埼玉医科大学・脳神経外科）

岩瀬博太郎（千葉大学・法医学）

埜中正博（関西医科大学・脳神経外科）

朴永銖（奈良県立医科大学・脳神経外科）

我妻路人（大阪弁護士会、SRP（SBS 検証プロジェクト））

秋田真志（大阪弁護士会、SRP）

石塚伸一（龍谷大学・刑事政策）

川上博之（大阪弁護士会、SRP）

笹倉香奈（甲南大学・刑事訴訟法、SRP）

高見秀一（大阪弁護士会）

高山巖（大阪弁護士会、SRP）

三村雅一（大阪弁護士会、SRP）

**総合同司会** 古川原明子（龍谷大学・刑法、SRP）

黒原智宏（福岡県弁護士会、SRP）

## **プログラム**

### ●午前の部 10:00-11:35●

- ・ 挨拶・企画趣旨〔古川原明子〕
- ・ 「日本の問題状況」〔秋田真志〕
- ・ 「世界の状況」〔笹倉香奈〕
- ・ 基調講演 I  
「アメリカの SBS 事件の過去、現在、未来」（キース・フィンドレイ）

〔11:35-12:30 休憩〕

### ●午後の部① 12:30-13:45●

- ・ 午後の部の開会挨拶〔古川原明子〕
- ・ 基調講演 II  
「SBS 事件の弁護」〔ケイト・ジャドソン〕
- ・ 「日本の事例報告」〔高見秀一、三村雅一〕
- ・ 冤罪被害者〔矢野美奈（一般社団法人スリーポート）  
その他冤罪被害者からのメッセージ〕

[13:45-14:00 休憩]

●午後の部② 14:00-15:45●

- ・ 基調講演 III  
「SBS 理論の医学的な問題点」〔ウェイニー・スクワイヤー〕
- ・ 「国内医学者からの報告」〔青木信彦、朴永銖、岩瀬博太郎〕

[15:45-16:00 休憩]

●午後の部③ 16:00-18:00●

- ・ 「パネルディスカッション」  
パネリスト：秋田真志、荒木尚、高山巖、埜中正博  
コーディネーター：川上博之、笹倉香奈
- ・ コメント〔ケイト・ジャドソン、キース・フィンドレイ、ウェイニー・スクワイヤー〕
- ・ 総括コメント〔我妻路人〕
- ・ 閉会挨拶〔石塚伸一〕

**通訳** 熊野里砂、藤岡美恵子

**主催** 龍谷大学犯罪学研究センター（科学鑑定ユニット）

**共催** 龍谷大学刑事司法未来プロジェクト  
えん罪救済センター(Innocence Project Japan)  
SBS 検証プロジェクト(SRP)

**後援** 大阪弁護士会、京都弁護士会、兵庫県弁護士会

以上